

みどりの風

令和3年11月30日（火） 発行人：校長 角田 亮明

緑
の
誓
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強をします
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

絶賛された算数科研究発表会＝3年生の授業から

市内外から50名を超えるお客様を迎えて、算数科研究発表会が盛大に開催されました。主体的に学び合う児童の育成～ねらいに即した「書く活動」を重視する算数科の学習を通して～という研究テーマの下、3年間研究を重ねてきた成果を子ども達の姿で示す時です。代表して授業を公開した3年1組：宮崎学級の授業の様子を少しだけお伝えします。

3年生の学習単元は「分数を使った大きさの表し方を調べよう」です。本時は、同分母の分数の加法計算方法を考え、自分の考えを分かりやすく説明することがねらいです。3/10Lと2/10Lのたし算の仕方を、①1Lマス図 ②1/10の何個分 ③数直線 ④小数に置き換えて などの方法で自力解決していきます。そして自分の考えをしっかりとノートに書き、ノートを見せながら友達に説明します。研究会後の参観者アンケートには、「全員が考えをしっかりと、分かりやすくノートに書いていた」とお褒めの言葉のオンパレード。書く活動の充実が学習理解を確かなものにするという研究の方向性を具現化する素敵な授業でした。よくがんばりました。



全体で考えを交流する際、みんなの前で発表する子が「～ですよ」と問いかけると、聞いているみんなが「はい」と返します。友達の意見を大切にしている支持の風土がしっかり築かれていることにも称賛の声が多数寄せられました。見ている私も胸を張りました。

後述する6年生の授業も同様ですが、みんなと一緒に伸びるという雰囲気は学びを深め理解を確かなものとし、両学級の学びは「主体的に学び合う児童」そのものです。

絶賛された算数科研究発表会＝6年生の授業から

もう一つの代表授業は6年2組：京学級。中学校から参加の先生方は殆ど6年生の授業を見るので、より一層緊張の授業となります。学習単元は「データの特徴を調べて判断しよう」という、中学校数学の学習内容から新たに小学校に下がってきた内容です。3つのクラスの、練習段階での毎日の長縄跳び回数という資料から、本番の縄跳び大会での優勝クラスを予想するという学習です。子ども達はこれまで、代表値としての平均値で推察したり、ドットプロットでデータの散らばりを見て最頻値で比べたり、度数分布表やヒストグラム（柱状グラフ）などの整理の仕方を学んだりしながら、目の付け所を探ってきました。

本番の授業では、個々が、それぞれの切り口で資料を読みくつき、自分なりの結論を持って討論に臨みました。相手を説得するための語彙の豊富さ、文の組み立て方も確かで、白熱した練り合いとなりました。何より、友達の考え方を尊重しながら自分の考えを示す姿勢を、参観者からたくさん褒められました。

